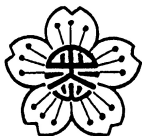


学校だより

やさしい子 たくましい子 考える子

4月号



黒門

発行日 令和4年4月6日
発行者 台東区立黒門小学校
校長 石田 隆

新鮮な気持ちで 未来を見つめて

校長 石田 隆

3月24日。卒業式を終えたあとの校庭。さわやかな青空の下で、教職員と5年生が花道をつくり、拍手で卒業生親子の門出を見送りました。互いに感謝を伝え合う、笑顔と涙のあふれたあたたかな空気に包まれていました。日々、子供たちのことを思い、見えぬところでも悩み奮闘していた担任の松本・山岸先生の万感胸に迫る思いも伝わってきました。

送り出し後に、「校長先生、一緒に写真を撮って下さい」とお声かけいただいた際、保護者の方から「私の母校、岩手の小学校の校歌も(黒門小の第二校歌と同じ)『日が昇る』という題で、歌詞もよく似ているんですよ」

「砂場のところにある、創立80周年記念の歌碑にある、『いつまでも どこまでも』の作詞者名は(当時の児童であった)うちのお父さんの名前ですよ」

『校長室だより』が毎週楽しみでした。全部取ってあります」等々、嬉しいお話を伺うことが出来ました。そして、いかにこの2年間、コロナ禍で、直接お会いしてこのような普段着のコミュニケーションの場がなかったかということを改めて感じました。

これまで感染症対策を講じつつ、教育活動は少しずつ工夫して、また形を変えて実施し効果を上げてきました。今年度は学校や地域行事を通して、保護者・地域の皆様とより多くの時間を共にし、共に汗を流し、共に感動(共間! 共汗! 共感!)していきたいと強い思いを抱きました。

*

明るく 元気で 前向きに

4月初。新6年生が前日準備のために他学年より1日早く登校してきました。すでに前年度終盤から最高学年の「顔」を創ってきた子供たちです。子供たちの内から沸き立つ新年度に向けてのさらなるやる気が嬉しいです。新たに56名の新1年生と転入児(1名)を迎え、375名で令和4年度がスタートいたしました。子供たちにはこの出会いを大切に感じながら、前を向いて進んで行って欲しいです。

*

「ミッション・パッション・コミュニケーション」を大切に

お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。今年度も私の**使命(ミッション)**は、この子供たちの夢や願いを叶えるために教育という営みを通して精一杯がんばることです。そのために労を惜しまず、**情熱(パッション)**をもって、4つの学校の姿を常に心に抱いていきます。

第一は、子供が自分の成長を感じられる学校

第二は、保護者が信頼し、安心して子供を預けられる学校

第三は、地域が誇りに思い参画できる学校

第四は、教職員が生きがい・行きかゝいを感じる学校

112年の伝統と歴史を受け継ぎ、**対話・交流(コミュニケーション)**を大切にしながら新たな時代を築いて参ります。今年度もよろしくお願ひします。